

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991600071		
法人名	株式会社 奉伸		
事業所名	グループホーム「アルプスのなかまたち」		
所在地	山梨県南アルプス市桃園345-3		
自己評価作成日	平成27年9月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成27年11月20日(金)		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

奉仕して伸ばす新しい介護をスローガンに、施設運営をしております。利用者様が中心となり、役割を持った生活の実現を目差して、日々の生活の中で利用者様の出来る事を探し、役割として受け持っていた頂き、難しい所は職員がサポートする形で、毎日生き甲斐を感じながら、楽しく生活出来る様に、職員が丸となって介護している施設です。特に一人一人の利用者様の生活や気持ちを尊重する事と、それぞれに合った介護予防に向けての出来る事探しに力を入れています。又、地域密着型サービスとして地域のお役に立てる様に、施設全体で目標を持って頑張っている事も力を入れている事の一つです。話し声や笑い声が多く、活動的で明るい雰囲気での施設ですので、是非、ご来所ください。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は国道のすぐ近くにあり、周囲には病院や訪問診療してくれる歯科もある。開設して2年にならない事業所であるが、地域との関わりを熱心に進めており、近所の方が花壇の手入れに来てくれたり、お菓子屋で一休み出来て、気軽な関係作りが出来ている。経営者は地域の中で役に立つ事業所を目指しており、市と良好な関係を築き協力して、地域の認知症・高齢者のサテライトカフェとして提供する事を計画している。また、職員の介護力のレベルアップを温かく見守り応援している。男性利用者が割合多く、食事時には率先して手伝い「いただきます」を大きな声で言って、他の利用者に関わり合いながら過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

調査シート(自己評価および外部評価結果)

事業所名

( グループホーム「アルプスのなかまたち」 )

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義、事業所の理念の中にある様に、ホーム内の管理者と職員が共有し、個々の利用者様が役割を持って過ごせるよう援助が来ていると思います。利用者様方も会話も多く、笑顔もたくさん見られています。	地域密着型サービスの意義、事業所の理念の中にある様に、ホーム内の管理者と職員が共有し、個々の利用者様が役割を持って過ごせるよう援助が来ていると思います。利用者様方も会話も多く、笑顔もたくさん見られています。	理念を職員が常に働いている場所(キッチン)に貼っている。理念4項目を職員は理解しており、月一回の職員会議で日々の支援を振り返り確認して共有している。有する力や支えれば発揮できる力を見極めながら、職員と利用者が一緒に過ごせる事を大切にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	日常的とは行きませんが、近所に散歩に出かけ近所のお饅頭屋さんで一休みしたり、ご近所様のお庭を見せていただいたり、地域の方とお話をしたりして、地域の一員として利用者様には暮らしていただけていると思います。また、ホームの花壇には近所の奥様がお花や外灯を寄付してくれ、季節のお花などを植えてくれたりして、綺麗にしています。	日常的とは行きませんが、近所に散歩に出かけ近所のお饅頭屋さんで一休みしたり、ご近所様のお庭を見せていただいたり、地域の方とお話をしたりして、地域の一員として利用者様には暮らしていただけていると思います。また、ホームの花壇には近所の奥様がお花や外灯を寄付してくれ、季節のお花などを植えてくれたりして、綺麗にしています。	自治会に入っている。散歩時には近所の庭や花を見て貰ったり、和菓子屋で買い物しながら一休みして日常的に交流している。また、花壇の手入れに参加してくれて、近所の人々と気軽に声掛けしあえる関係が出来ている。地域からの依頼で、道に迷う方の為に事業所の柵に地区の地図を取り付けた。近くの病院の健康祭りに地域の一員として参加して買い物を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在、市役所の介護福祉課介護事業部と認知症を抱えたご家族の集まりにタイアップし、施設で取り組んでいる対応など発表できる機会を検討している。また、日中デイサービスなど活用できていない認知症を抱えた方のサテライト場所として活用できないか検討しています。	現在、市役所の介護福祉課介護事業部と認知症を抱えたご家族の集まりにタイアップし、施設で取り組んでいる対応など発表できる機会を検討している。また、日中デイサービスなど活用できていない認知症を抱えた方のサテライト場所として活用できないか検討しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設で起きている問題を議題として、積極的に意見交換及び改善の報告が来ていると思います。	施設で起きている問題を議題として、積極的に意見交換及び改善の報告が来ていると思います。	2か月に1回運営推進会議を行い、出席者に議事録を配り、有意義な会議になるように心がけている。事業所の活動や状況を報告して、意見交換が活発に行われて、家族も交代で出席しており、協力的である。昨年度の外部評価の改善点に取り組み、結果報告をしている。充実した会議のため、居宅事業所から参加したいとの話がある。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換しながら、施設のことまた、南アルプス市における認知症を抱えた方の対応策など考えております。	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換しながら、施設のことまた、南アルプス市における認知症を抱えた方の対応策など考えております。	市の担当者と積極的に情報を交換している。担当者が度々変わっても、事業所から積極的に関わりを行う事で、得るものがあると考えている。市との関係が深まり、地域の認知症・高齢者や家族が気軽に寄れる事業所として、新しい活動を協力して行う事を計画している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行えています。最近では、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行えています。最近では、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。	玄関の施錠はしていない。身体拘束をしないケアの研修を行い意識して取り組んでいる。一人ひとりに合わせた言葉かけをする様に工夫している。転倒の危険のある利用者が立ち上がる際は、静止せず本人の行動の原因を考えて、欲求を満たすケア(体操・運動・少しでも歩く事)を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修が多く、参加した際は報告書として開示する様になっています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも細心の注意を払って虐待防止に努めています。	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修が多く、参加した際は報告書として開示する様になっています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも細心の注意を払って虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、職員会議で概要を話したりしています。	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、職員会議で概要を話したりしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	行えています。	行えています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けても、そこへの投稿は今までありませんが、直接、利用者様やご家族との会話の中で引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するともに、意見に対して取った行動を後日必ずお伝えするようにしています。	意見箱を設けても、そこへの投稿は今までありませんが、直接、利用者様やご家族との会話の中で引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するともに、意見に対して取った行動を後日必ずお伝えするようにしています。	面会時に利用者の日頃の様子を話して、なんでも言い易い声掛けや雰囲気作りをしている。運営推進会議時は、利用者から食事の味付けの意見があり、一緒に作る事で納得し、家族に伝えて事業所にお礼を言ってくる。細かい事でも、ユニットカレンダーに書く事やメモをして、確実に対応できるようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が管理者に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにはしています。また、職員会議の場でも意見交換を行っています。	職員が管理者に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにはしています。また、職員会議の場でも意見交換を行っています。	職員会議やまた、日常的にも言い易い関係が出来ている。入浴対応の勤務時・朝食準備について意見が出され一緒に話し合い、ユニットとの連携で対応していく事で、働く意欲の向上につなげている。月毎の駐車場で行う行事は担当者を決めて、その職員が中心になって実施し運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績を考慮し、給与に繁榮しています。またなるべく労働時間に無理が無く、やりがい失われぬ様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員みんなが助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境での運営が出来ていると思います。	代表者は職員の努力や実績を考慮し、給与に繁榮しています。またなるべく労働時間に無理が無く、やりがい失われぬ様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員みんなが助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境での運営が出来ていると思います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。	研修は職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。	職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所作りに努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。	訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所作りに努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに摺合せ、サービスの提案をしています。また、入居後も積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見られる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに摺合せ、サービスの提案をしています。また、入居後も積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見られる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、摺り合わせ、サービス導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応なども行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、摺り合わせ、サービス導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応なども行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活全般で、利用者の方々が残存機能により出来ることは、皆様で手分けして出来る限り行えるように職員がサポートをしながら提供しています。また利用者の方々の出来ないところを職員がお手伝いする事で「ありがとう。」の言葉が施設内に飛び交っています。例をあげると、洗濯物を畳む、食事の支度や後方付けの手伝い、お掃除など、皆様喜んで手伝って下さっています。	日常生活全般で、利用者の方々が残存機能により出来ることは、皆様で手分けして出来る限り行えるように職員がサポートをしながら提供しています。また利用者の方々の出来ないところを職員がお手伝いする事で「ありがとう。」の言葉が施設内に飛び交っています。例をあげると、洗濯物を畳む、食事の支度や後方付けの手伝い、お掃除など、皆様喜んで手伝って下さっています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設での出来事や日常の様子はご家族の面会時に必ずお伝えし、情報を共有できるよう動いている。またご家族に協力を仰ぎ行っているご本人のニーズ対応もあり、ご家族と一体になってのケアを実現しています。	施設での出来事や日常の様子はご家族の面会時に必ずお伝えし、情報を共有できるよう動いている。またご家族に協力を仰ぎ行っているご本人のニーズ対応もあり、ご家族と一体になってのケアを実現しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	中にはご友人が良く面会に来られる利用者様もいます。ご家族との関係が悪くなり入居となった方もあり、先ずは、ご本人とご家族との関係改善に動いているケースもあります。利用者によってケースバイケースではあるが施設としては支援に努めて行く所存です。	中にはご友人が良く面会に来られる利用者様もいます。ご家族との関係が悪くなり入居となった方もあり、先ずは、ご本人とご家族との関係改善に動いているケースもあります。利用者によってケースバイケースではあるが施設としては支援に努めて行く所存です。	買い物時には利用者が入居以前に利用していた店に行くことや馴染みの美容室を利用して、関係が途切れないように支援している。生家に行きたい願望の強い利用者には、家族と話し合って生家に行ってもらい継続的な交流が出来るように働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	現在の6名は時には喧嘩もしますが、自室に籠もり過ごされる方はおらず自分から望んでリビングで他者と過ごすことを楽しんでいるようです。耳の悪い方もいますが、職員が仲介役となり皆様の輪の中で過ごせるよう援助しています。	昔から、人の輪を好まない方が1名おられますが、過ごせるときは皆様と一緒に過ごし、挨拶程度ではございますが、会話を交わせるよう援助しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方は、ご家族を通じご本人にお手紙を出すなど、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、夫婦のどちらかが入居し独居となっているご家族に対しては、時々連絡を取り、悩み事など伺いながらフォローしています。時々施設にも足を運んでくれています。	ケースがございません。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。	利用者の生活歴や環境等を把握して理解に努めている。意向の把握に困難な方には職員が声掛けした時の表情や言動などで理解をするようにしている。聴覚障害のある利用者には、筆談で対応したり、職員は、手話を学ぶ機会を設けている。介護のためのアセスメントのみならず、生活を支えるための、アセスメントとしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の普段の会話の中から出た思い出話しや、ご家族よりその都度得た情報を大切に経過支援記録に記載し、次期計画書作成時に役立つよう動いています。	利用者様の普段の会話の中から出た思い出話しや、ご家族よりその都度得た情報を大切に経過支援記録に記載し、次期計画書作成時に役立つよう動いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	十分行えていると思います。	十分行えていると思います。	利用開始時に利用者・家族の意向を聞いて介護計画を作成している。グループホーム以外の事業所を利用する時は作成時に参加してもらい意見を参考にしてプランに取り入れている。3か月で見直ししている。利用者には職員2人が担当し、日常の支援・気づきをカンファレンスで伝えプランに反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例に上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具があるときは、業者を呼んでご家族と繋げています。施設内での美容室の対応もしております。	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例に上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具があるときは、業者を呼んでご家族と繋げています。施設内での美容室の対応もしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族が対応できる利用者様に関しては、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいております。また、難しい方に関しては、水曜日の午後のお買い物の時間を活用し昔馴染みのお店などに足を運べるよう援助しています。	ご家族が対応できる利用者様に関しては、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいております。また、難しい方に関しては、水曜日の午後のお買い物の時間を活用し昔馴染みのお店などに足を運べるよう援助しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、確認したいことは、ご家族にお手紙をお渡しし、受診時に持っていっていただいたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、確認したいことは、ご家族にお手紙をお渡しし、受診時に持っていっていただいたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	家族が遠方な方以外は、以前のかかりつけ医をほとんどが受診している。基本的に家族が付き添い受診を行い、必要時は利用者の状態を手紙で報告している。また職員も一緒に同行する事があり、受診結果は経過受診記録に記入して共有している。歯科は希望で訪問治療が出来る。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員ですので、十分出来ていると思います。	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員ですので、十分出来ていると思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院や他施設への移行があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し併せて、現場職員に口頭による情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。	入院や他施設への移行があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し併せて、現場職員に口頭による情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医より疾患の予後を伺い、進行の兆候が見られた際は、ご本人及びご家族と施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を摺合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っています。当施設は看取りを行っている為、入居時と、利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様になっています。	主治医より疾患の予後を伺い、進行の兆候が見られた際は、ご本人及びご家族と施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を摺合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っています。当施設は看取りを行っている為、入居時と、利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様になっています。	入居時に利用者・家族と重度化した場合の話し合いを行い、事業所で出来る事を十分説明している。利用者の状態が変化してきた場合にも家族の希望をその都度確認している。看取りを行う方針であり、指針書も整えている。職員は看取りの理解と心がまえが出来ており、医療関係者との協力体制が出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	昨年は地域の方を交え、施設にて普通救命講習を開催しましたが、それ以降に入社した職員に対しては、地域で開催されている普通救命講習への参加を行い、事故発生時の対処法を学んでいただいています。緊急時の対応マニュアルも設けています。	昨年は地域の方を交え、施設にて普通救命講習を開催しましたが、それ以降に入社した職員に対しては、地域で開催されている普通救命講習への参加を行い、事故発生時の対処法を学んでいただいています。緊急時の対応マニュアルも設けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月、9月は、毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、避難訓練の実技を行っています。また、トイレトペーパーや食料の備蓄や避難器具などの災害対策は行っています。	3月、9月は、毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、避難訓練の実技を行っています。また、トイレトペーパーや食料の備蓄や避難器具などの災害対策は行っています。	夜間時の地震・火災発生を想定して、実際に利用者にも部屋で寝て貰い、一人で避難させることを全職員が体験した。また、その度に避難場所を替えたり、ドアが開かない等のあらゆる事を設定して行っている。訓練後は職員と共に反省をし、運営推進会議で報告して次の訓練時に活かすようにしている。ヘルメット、迅速に通報が鳴るラジオもある。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては、職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	スピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては、職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	利用者の居室に入る時は「入ってもよいですか」と必ず声をかけている。呼び名は苗字と名前「さん」をつけて、利用者に合った呼び方をしている。書類の引継ぎ時は声のトーンを落としてフロアの利用者に気を付けている。日々の支援時にも利用者のプライバシーを損ねないように心がけている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お手伝いや、運動など1日のうち活動はたくさんありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に、促しを行いながら提供して、利用者本意の生活を優先しています。	お手伝いや、運動など1日のうち活動はたくさんありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に、促しを行いながら提供して、利用者本意の生活を優先しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合は優先しないで、まずは利用者様のそれぞれのペースをととても大切に生活しています。利用者様方の家事やアクティビティ、体操への参加が習慣となっており、声掛けは行いますが、自主的に参加して下さっています。皆様それぞれのペースで、1日の活動を楽しみにしてくれて、参加しているものと思います。	職員側の決まりや都合は優先しないで、まずは利用者様のそれぞれのペースをととても大切に生活しています。1日の活動に気が向いたら参加という方もいらっしゃるのですが、声掛けを行い、自主性を重視しています。家事には参加しませんがアクティビティには参加するなど、自己決定のもと生活しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢を設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですね」などと誉める様にしていきます。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢を設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですね」などと誉める様にしていきます。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食、夕食に関しては今日どのような料理を作るのか利用者様と相談しながら、調理下ごしらえから盛り付け、片付けまで皆様と分担して取り組んで自宅に居る様な生活を楽しんでいただいています。食事時の会話が隠し味に担い更に美味しい様で、利用者様と一緒に行事で「御飯が美味しい」と言われる様になりました。	調理は、女性陣が中心となって取り組んでください。男性陣はおしぼりや箸、お茶を配るなど、サポートに回って下さって、自宅にいる時の様な食事時の男女の役割分担が出来ています。何より、食べて「おいしい。」と感想を言ってく下さるので、女性陣もやる気が出る様です。	当日のメニューを利用者の希望を取り入れながら、一緒に作っている。食事の調理や盛り付け、配膳、下膳、後片付け等、出来る利用者が職員の支援を受けながら行っている。食事作りの出来る部分を利用者が関わる事で「美味しい」という言葉が頻繁に出るようになった。庭の菜園の野菜を食材に利用している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事はチェックしますが水分は、摂取に制限がある方のみチェックシートを活用します。現在しっかり食事、水分を摂って下さる方ばかりなのであまり気にしていません。バイタルの変化にて水分を勧めることはございます。	皆様、体重の増減は安定していますが、1名糖尿病を患って血糖値が高めの方がいます。その方はご飯をどんぶり擦切り一杯食べられます。量を減らすと、「菓子パンを買いに行く。」と訴え、落ち着かなくなり逆効果なので、ご家族と話し合い、しっかりご飯を食べる方向の援助を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいています。1名義歯を外すと、落ち着かなくなる利用者様があり、話し合いにて装着したまま休まれる方もいます。	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	行っています。失禁のタイプにもありますが腹圧性の方に対しては、こまめに声掛けを行いながら対応しています。	行っています。失禁のタイプにもありますが腹圧性の方に対しては、こまめに声掛けを行いながら対応しています。	生活チェック表を利用して利用者の排泄を把握している。排泄が自立している方には排泄後に声をかけて、排泄の確認をして、トイレ内も確認している。トイレでの排泄を目指している方にはさりげない声かけ・誘導をしており、こまめな対応により、パットの使用枚数が少なくなった方がいる。身体機能が低下した方々の為に右側部分が広いトイレと左側が広いトイレがある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の食事からの支援や、個人個人に残された機能を使った運動などを働きかけ、水分摂取の促しなど、予防に取り組んでいます。また訪問マッサージで腸の活性化を図っている方もいます。下剤を処方されている方もございますが、ほぼ自然便で行えています。	毎日の食事からの支援や、個人個人に残された機能を使った運動などを働きかけ、水分摂取の促しなど、予防に取り組んでいます。下剤を処方されている方もございますが、ほぼ自然便で行えています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそって支援をしている	月・木曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。声掛けを嫌がる方は見られていないので、個々に沿っているのではないかと思います。	火・金曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。拒否される方もいますが、1日を通し入浴に気が向いた時に提供できるようにしています。	ひとりにつき週2回入浴している。一日を通して利用者に声をかけて、拒む方には時間をおいて、再度声掛けを工夫しながら入浴支援を行っている。浴室が広くて、三方向から利用者を介助できる浴槽がある。入浴支援時は利用者が昔の事を話しコミュニケーションをとる場でもある。個々の好みのシャンプーを使っている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は21時としていますが、個々の希望を尊重しています。見たいテレビがあるときは当然遅くなりますし、寝付けない時は職員が話し相手になったりして、気持ちを落ち着けて安眠出来る様に対応しています。よって支援出来ていると思います。就寝時間は、個人の希望に任せているため、日によって変わります。	早寝、早起きの方が多いです。しかし、寝付けない時などは、リビングで職員が話し相手になったりして、気持ちよく休めるように安眠の援助をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えていただくようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えていただくようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	皆様、なかなか個々では集中力が続かず、皆様で同じことを行うことを好まれているが、個々の能力から何かしらの役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に、援助しています。また、余暇を使って体操やアクティビティを提供し、積極性や笑顔が沢山見られています。	個々の能力から何かしらの役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に、援助しています。また、余暇を使って体操やアクティビティを提供し、積極性や笑顔が沢山見られています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	日用品が切れた時は、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物に出かける援助を行っています。希望があれば、お菓子屋に寄って食べてくることもあります。また、ご家族の協力のもと、定期的に外食へ連れて行ってもらっている方もいます。また、散歩をしたい方など、職員が付き添い、その方に合わせた気分転換をしています。	日用品が切れた時は、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物に出かける援助を行っています。希望があれば、お菓子屋に寄って食べてくることもあります。また、ご家族の協力のもと、定期的に外食へ連れて行ってもらっている方もいます。また、散歩をしたい方など、職員が付き添い、その方に合わせた気分転換をしています。	毎週水曜日に希望する方や必要な物を買う方をその都度交代で買い物に出かけている。事業所の駐車場で花火、餅つき、ダンス、ミニ運動会、流しそめん等楽しみ事を行い、近所の人達が参加してくることもある。また、植栽場所を菜園に変えて、様々な野菜を作り、手入れ、水やり、収穫のために、戸外に出るので、気分転換にもなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理でお金を持たれている方もいますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理をしてお金を預かるよう頼まれています。毎週水曜日の午後に必要なものがある方を優先しながら順番でお買い物に出ています。その他で、欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた職員が代わりに買い物に行ったりもしています。	自己管理でお金を持たれている方もいますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理をしてお金を預かるよう頼まれています。毎週水曜日の午後に必要なものがある方を優先しながら順番でお買い物に出ています。その他で、欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた職員が代わりに買い物に行ったりもしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者に対しては電話の使用など援助しています。手紙は未だ希望がありませんが、今後、手紙のやり取りを希望される方がいらっしゃいましたら協力支援致します。	希望者に対しては電話の使用など援助しています。手紙は未だ希望がありませんが、今後、手紙のやり取りを希望される方がいらっしゃいましたら協力支援致します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の部屋の理解やプライバシー保護の為、入居時自宅より暖簾をお持ち頂き自室前にかけるようにし、天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々とし音楽を流したりしてます。壁には、利用者様が作った作品などを飾って、暖かい雰囲気作りをしています。浴室も明るく温かく温泉の様な雰囲気を出しています。また、廊下でも一休み出来る様に、量のベンチを3個置いて、居心地良い空間作りをしています。	自分の部屋の理解やプライバシー保護の為、入居時自宅より暖簾をお持ち頂き自室前にかけるようにし自室の認識に努め、各々自由に居室をアレンジして頂き心地よく住めるよう努めています。天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々とし音楽を流したりしてます。またエントランスから見える花壇は、利用者様と一緒に花を植え、草むしりから水遣りをお行い、一緒に心地よい空間を作っています。	キッチン、食堂兼リビング、介護スペースが一体的になっていて、廊下には量仕立てのベンチがある。壁には職員と共に作った貼り絵を飾り、完成した日付、利用者の制作中の様子、絵の説明がしてある。また、マッサージ機があり身体を休めるようになっている。キッチンのカウンターにはいつでも自分で飲み物が飲めるように、ポットや夏には麦茶を置いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話する方や、廊下の量のベンチに座ったり、話したりする方、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話する方や、廊下の量のベンチに座ったり、話したりする方、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、亡くなったご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真を飾ったり、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に居させていらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、亡くなったご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真を飾ったり、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に居させていらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	各居室入り口には名札の代わりに利用者それぞれの暖簾が掛けてある。クローゼット、ベッド、テーブル、イスが備え付けてある。入居時には馴染みの物・好みの物・思い出の物「テレビ、たんす、鏡台、冷蔵庫、写真、掛軸」等を持参して、自宅の部屋のように置いたり、飾ってある。居室の窓から菜園の野菜の育ち具合が良く見え居心地良く過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	少しでもできるのにやっていた事また、できるのにやる機会に恵まれていなかったことに目をむけ自立できることを増やせるよう援助しています。少しだけ出来ない事は支援し、少しでも出来る事になる様に、建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。	少しでもできるのにやっていた事また、できるのにやる機会に恵まれていなかったことに目をむけ自立できることを増やせるよう援助しています。少しだけ出来ない事は支援し、少しでも出来る事になる様に、建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。		